



三彩

email: sansai@crest.ocn.ne.jp HP: http://sansainosato.jp

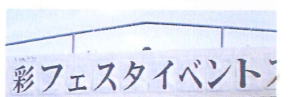
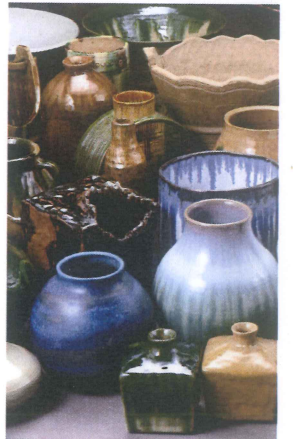
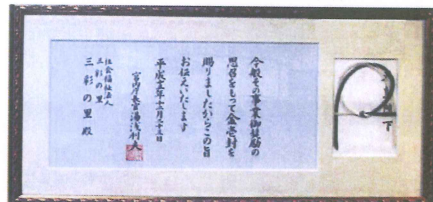
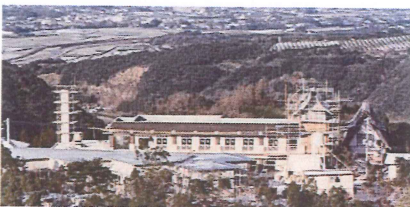


社会福祉法人 三彩の里
障害者支援施設 三彩の里

事業所番号 4210500056
就労移行支援事業・就労継続支援事業B型
生活介護事業・施設入所支援事業

事業所番号4220500369(共同生活援助事業)
グループホーム カサロッサ
事業所番号4220500542(共同生活援助事業)
グループホーム びびるす

住 所: 長崎県大村市原町802-1
電話 0957-55-8833/FAX 0957-55-8294
編集発行人 江口 司



新年のご挨拶

施設長 江口 司



長崎三彩 酉置物

新年あけましておめでとうございます。今年の干支は十番目「丁酉(ひのととり)」です。丁は火を意味し、酉は酒を意味するようです。あまり良い取り合わせではないようです。

一回り前、六十年前はどうだったでしょうか。百円硬貨の発行、ソ連人工衛星スプートニク1号2号、長嶋茂雄巨人軍入団、プロレスブームで力道山ルーテーズを破る。等、宇宙時代の幕開けでも有り、冷戦時代のソ連の台頭が目立った年でもあります。火の鳥もロシアの民間伝承で生まれたようです。さて今年は何でしょうか。トランプ新大統領は、EU諸国は…、

一方福祉の関係では、一九五一年に制定された社会福祉法人制度が時代の変化や新たなニーズにより改正法施行となる。この社会福祉法改正は、1. ガバナンスの強化(諮問機関であった評議員会を議決機関に、定款準則を定款例に)、2. 経営情報の開示(インターネットの利用など)、3. 財政規律の強化(余裕財産の明確化)、4. 地域における公益的な取り組み(相談事業や社会福祉充実残高が生じたときの地域公益事業)が求められています。

さて三彩の里では、今年四十周年を迎えます。昭和五十二年に認可を受け爾来四十年。夢をかたちに 歩み続けております。

彩フェスタを開催しました



毎年恒例の「三彩の里 彩フェスタ」を十月

八・九日の二日間で無事に開催することができました。特に今年は熊本で大きな地震があり、私どもと同じ様な障害者施設でも甚大な被害を受けました。又、東北においてもまだまだ復興半ばですががんばっている方がたくさんいらっしゃいますので、その復興支援を目的として、熊本・東北物産店や「熊本大震災のパネル展」などを行ないました。ステージイベントでは、地域で活動されている団体様により歌や踊りが披露され、フェスタ全体を盛り上げていただきました。ご来場されたお客様とたくさん交流することができ、開催にご協力くださったイベント、出店、ボランティアの方、本当にありがとうございます。三彩の里では今後も復興支援を継続していきます。(江崎支援員)

警察との防犯講習会

十一月二十九日施設にて防犯講習会を開催しました。講師として、大村警察署の方十三名をお招きし、防犯に対する講話、防犯訓練の映像の視聴、演習を行いました。訓練の映像は、訓練と解っていないながらもとても怖いものでした。大村警察署の方の模擬演習では、一（不審者）対三で、不審者との間合いの取り方や一人が注意を引く、大声を出す・取り押さえたら首・腰・足の三点を押さえるという順番さながらの演習でした。さすまたは、腰より上に差し込む、下から上に一気に押さえ込む。後からフックで足を掛ける等を教えて頂き実際に使ってみました。簡単そうに見えながかなか難しい。何度も訓練をし慣れるしかないと思えました。生活安全課の方のお話



で、ちょっとした事でもおかしいな？と思ったら遠慮をせず、まずは110番通報をして下さいと聞き安心しました。今後、当施設でも防犯訓練を行なう必要性を感じました。
(岩本支援員)

九州セルプ大会 in 長崎



セルプとは、Self-aid(自助)からの造語。セルプ協会はハンディを持った人が社会に貢献しながら自分たちの生活を作り出す「自立」を目的としています。

11月1日から二日間行われたセルプ研究会には三百名以上が九州各県から集まり、私たちも職員4名で大会に参加しました。

第一分科会はアルデバラン株式会社の暮部達夫代表を講師に迎え、ブランディングについての講義がありました。デザインやマーケティングの視点から、施設商品の開発プロセス、市場流通とその後の継続まで、事例とともに学びました。とても刺激的な講義で、あつという間の時間でした。

第二分科会では、「専門的な作業支援のあり方について考える」というテーマでの東京学芸大学の菅野敦教授による講義を聴きました。障害が重い利用者の方の作業支援をどのように行っていくかを重点に、作業環境の大切さや利用者本人の特性にあった支援の方法を考えるなどわかりやすい講義でした。特に印象的だ

ったのが5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)の大切さで自分たちの作業場の状況など見直しが必要だなと感じました。5Sは職場以外の場所でも必要な事なので常に頭に入れて行動していきたいと思いました。

今回は研究会と合わせて、会場からほど近い長崎駅かもめ広場にて「九州セルプバザール」を開催。ここでは県内外の障害者施設の製品がずらりと集まりました。各施設趣向をこらした商品・展示は見て買って楽しいのみでなく、障害者の方と商品を作るといふ喜びをも感じるものでした。大会で得た良い刺激を、施設の中でも職員と共有し今後の活動へつなげていきたいです。(土屋指導員・和久井指導員)



忘年会開催!



12月15日に、いこいの村長崎で三彩の里忘年会を開催しました。今年も忘年会は大変盛り上がり。美味しいお料理と愉快な出し物、皆少しおめかしして、乾杯!一年間お疲れ様でした、と声を掛け合いました。利用者・職員とも楽しいひと時を過ごすことができました。こうして皆で楽しく一年を締めくくれることは本当に有難いことです。

今年の出し物は、陶芸課が優勝。利用者・職員一緒になつて練習したダンスを披露しました。新しい年も皆んなでまた頑張りましょう!(和久井指導員)

新利用者



大久保彩さん
お菓子作りが好きです。カフェで楽しく仕事をしています。



大山悟さん
これから仕事を頑張っていきたいです。



中島久美子さん
三彩の里にも慣れて、楽しく過ごしています。これからも頑張ります。

新職員

職業指導員



生活支援員

竹内喜代子

小森勝之
初めてのことはわかりませんが、利用者さんに温かく接して頂き、充実した日々を送っています。仕事を身につけていけるよう努力して参ります。



退所者

北川千鶴子さん・大瀧敏廣さん
中平勢津也さん・長嶋四郎さん
蛭子甚一郎さん

退職者

石丸支援員、外尾調理員、富岡支援員
お疲れ様でした。

陶器の鳥



今年はとり年。毎年陶芸課では干支置物を作っています。がお手頃でおすすめののがミニサイズのとおり。日本の伝統をかわいくとりいれてみませんか。
(和久井指導員)



パン工房だより

近年、健康志向が高まる中、「身体に優しいパンを作ってみよう!」と天然酵母パン製造に挑戦。生の酵母菌を使うのでデリケートでも手間がかかりません。試行錯誤の末、完成した天然酵母パンは昨年の陶器まつりでデビュー。独特の風味や食感があり、自然で素朴な味があります。(森指導員)

1月

20日〜23日
ふくしフェスタ
(アミュプラザ)

2月

14日〜17日
ふれあいショップ
(長崎空港)

3月

3日〜7日
ふれあいショップ
(イオン大村)

その他出店等たくさんありますのでFacebookなどもご覧下さい!

編集後記

新しい年になり、お陰様で今回も無事広報誌を発行することができました。暖かい年末年始でしたが、皆様いかが過ごされたでしょうか。何かが変わったわけではないのに、新年になると姿勢を正すような気持ちになります。今年も三彩の里四十周年の記念の年です。職員も、利用者さんや保護者の方、お客様皆様への感謝を胸に、日々の支援にあたる所存です。本年もどうぞよろしくお願ひ致します。
(M.W、Y.S、Y.M、R.K)